

教育 EDUCATION

郷土を愛する心を育む教育 野尻小

野尻小6年 下沖方祐 折田菜々美



運動会での棒踊り

野尻小学校では、地域の伝統芸能である「棒踊り」に取り組んでいます。5・6年生は、毎年、6月頃から練習を始め、9月の運動会で練習の成果を披露するようになっていきます。棒踊りの指導は「棒踊り保存会」の方々にしていただいています。六尺棒、三尺棒を使い、2人1組になって踊ります。六尺棒と三尺棒では少し動きが違うので難しいです。保存会の方々が手や足の細かい動きもくり返し教えてくださいます。棒踊りの衣装（着物、手甲、脚半など）は、お父さん、お母さんが準備してくださいます。棒に付いている飾りも毎年付けかえてくださっています。先輩方から受け継いだ伝統を



朝のボランティア活動

下級生にも引き継いでいくために、2月の立志の集いでは「棒踊りの引き継ぎ式」もしています。それから、野尻小学校のシボルは3種類の大きな木（もみの木、くすの木、いちようの木）です。その他にもたくさんのお木があり、緑豊かな学校なので、一年を通して落ち葉がたくさんあります。そこで、朝のボランティアの時間に、落ち葉や小枝の清掃をしています。上学年を中心にほうきで掃き、たくさんの落ち葉を一輪車に積んで捨てに行きます。下学年も草取りをするなど協力しています。進んで取り組む子が多くなってきてので、これからも上級生がお手本となって学校をきれいにしていきます。

スポーツ SPORTS

市民体力向上事業 受講料無料 ガッツイ運動教室「わくわく編」



市

民の体力向上に向けた運動教室を開催します。普段から体がなまってど

うにかしたいと考えている人や、運動をしたいけどきつかけがないという人におすすめです。運動内容はいたって簡単ですので、未経験の人でも気軽に参加ください。

対象者

18歳以上の市内在住の人

申込方法

随時募集しています。電話で申し込みください。

開催日

6月、11月 毎月第2・4火曜日



- 時間 10時～12時
- 場所 小林市市民体育館
- 内容 ガッツイ運動 ストレッチ体操やのんのこ体操など準備運動的なもの ◆ニュースポーツ ミニテニス、ペタンク、柔力球、カローリング、ヨガなどわくわくするようなメニューを準備しています
- 持参するもの 屋内用シューズ、タオル、飲み物
- 申・問 保健体育課 Tel 22・7911

文化の足跡 TRACES

「小林市にある古事記・日本書紀②」

～神話の神々を祀る神社～

Vol.45



霧島岑神社参道入り口

記 紀神話の中には多くの人物が登場しますが、その中でも宮崎県に所縁のある人物と言えば、天孫ニギハヤヒ・ホオデリノミコト（海幸彦）・ホヲリノミコト（山幸彦）・ウガヤフキアヘズ（神武天皇の父）・カムヤマトイハレビコノミコト（神武天皇）が挙げられます。このニギハヤヒを日向三代神話と

アヘズまでを日向三代神話と言います。この神話が永遠万能な神から、人間的存在の天皇へつなげる記紀神話の中でも重要な役割を持ちます。小林市内でも日向三代を祀った神社がいくつかありますが、なかでも霧島岑神社には日向三代の夫婦6座（ニギハヤヒ・ホヲリノミコト・トヨタマヒメ）、（ウガヤフキアヘズ・タマヨリヒメ）の木彫像が祭神として祀られています。この6体の木彫像は市指定有形文化財に指定されています。

霧島岑神社には日向三代の夫婦6座（ニギハヤヒ・ホヲリノミコト・トヨタマヒメ）、（ウガヤフキアヘズ・タマヨリヒメ）の木彫像が祭神として祀られています。この6体の木彫像は市指定有形文化財に指定されています。

●問 社会教育課 Tel 22・7912

国際交流 『シャネットの徒然なるままに』

WORLD

筒掘りより、小さな冒険のお話

Vol. 9



「二」 ヤー。「ニヤー」。しばらく、こういう風に会話が続きます。車の最初の対面のクレムちゃん私と私が出会った会話です。今日、彼は新しい家に引っ越します。でもネコなので運転が出来ないため、私と友達を送ります。彼の新しい飼い主と私たちは、人見知りのクレムちゃんを、逃げないように、小さな部屋に閉じ込めます。心地よく住めるように準備が出来たら、彼は小さな部屋をクワンと点検。周りは探検を楽しめる原生林が広がる素敵な場所です。まだ出られない彼の代わりに周りを探検する私は、見たことのない植物に気づきます。ああ、この間初めて食べた筒じゃないですか！「掘っていいですよ」と許可をもらって、初めての筒掘り。



▲もちろん筒もちゃんと採りましたよ

「絶対負けない!!」と自分に言い聞かせ、6回、7回、8回と猛烈な勢いでスコップを打ち込みます。しかし、筒はそのまま。私はなぜネコさんの新しい飼い主が2、3回で取れるんだらうと悩んでいると、友達がクレムちゃんが逃げ出したことに気づきます。人見知りで初対面で初めての場所。しかも山の中にあるネコが見つかる訳がないと思いつつも、一生懸命ニヤーニヤーと呼びかけながら山を歩き回ります。すると、車の中でいっぱいおしゃべりしたせいか、クレムちゃんが不安に満ちた声で反応します。近づくと、木の穴に入り込んで出られません。一時間後、みんな力で合わせて彼を新しい住まいに連れて帰りました。クレムちゃんは最近慣れてきて、周りをよく探検し、いっぱい遊んでいます。